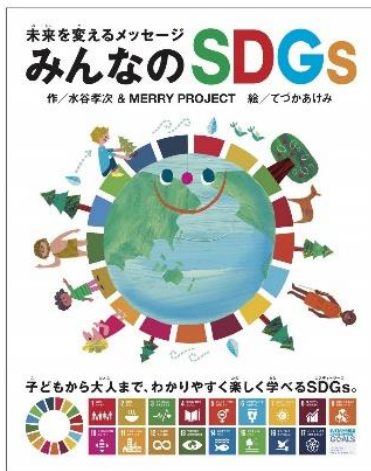


みんなのSDGs（未来を変えるメッセージ）

水谷孝次& MERRY PROJECT(作)(著), リベラル社（編集）



子どもから大人まで、わかりやすく楽しく学べるSDGs
みんなの行動で未来は変わる

2030年、あなたがいる地球はどうなっていますか？ 環境・教育・医療・食料・経済・人件・労働など… 今、地球では様々な問題が起こっています。あなたの未来を、地球の未来を想像してみよう。どんなアクションをしたら、未来のみんなが笑顔になるだろう？ 笑顔いっぱいの地球にするために、今あなたにできることは何ですか？

小説 8050 林 真理子（著）



このままでは我が子を手にかけて、自分も死ぬしかない——。従順な妻と優秀な娘にめぐまれ、完璧な人生を送っているように見える大澤正樹には秘密がある。有名中学に合格し、医師を目指していたはずの長男の翔太が、七年間も部屋に引きこもったままなのだ。夜中に家中を徘徊する黒い影。次は、窓ガラスでなく自分が壊される——。

「引きこもり100万人時代」に必読の絶望と再生の物語。

おじさんはどう生きるか 松任谷 正隆（著）

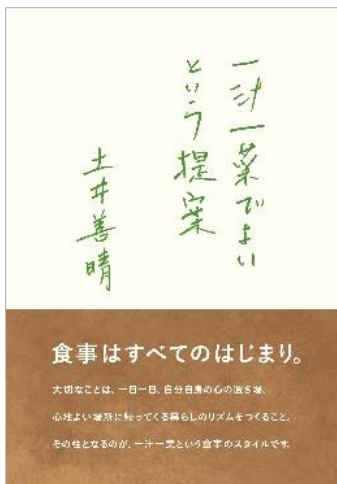


ピンチばかりの毎日に。夫婦の冷戦、うす毛問題、時代とのズレ……迷える日常が楽しく化ける。

何度もの赤っ恥体験の末、今こそ綴る“意地を張らずに生きる”ヒントが満載。

ジェーン・スーさんとのナルホド！ 対談収録

一汁一菜でよいという提案 土井 善晴 (著)



日常の食事は、ご飯と具だくさんの味噌汁で充分。何も気負う必要はありません。基本となる食事のスタイルを持てば、生活に秩序が生まれます。気持ちに余裕もできて、そこから新たな暮らしの楽しみが生まれるのです。長年にわたって家庭料理とその在り方を研究してきた土井善晴氏が、現代にも応用できる日本古来の食のスタイル「一汁一菜」を通して、料理という経験の大切さや和食文化の継承、日本人の心に生きる美しい精神について考察します。

まるごと1冊 ハンドメイドアクセサリーの本



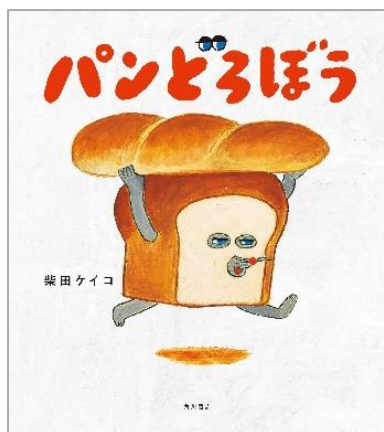
耳飾り、ブローチ、ネックレスなど、合計150点のハンドメイドアクセサリーが作れる本。パール、UVレジン、プラバン、タッセル、刺繍、布花、刺し子、水引と、様々な技法で作ったデザイン性の高いアクセサリーを多数ご紹介。学んだ技法をコラボさせて、オリジナルのアクセサリーを作ることも!

ふしぎ駄菓子屋 銭天堂 7 廣嶋 玲子(著), jyajya(イラスト)



よどみの差し金となった怪童は、紅子に果たし状を送り、菓子勝負をもちかける。そのルールとは「特別セール」と銘打って、たたりめ堂の商品を銭天堂におき、どちらのお店の菓子をお客が選ぶかというもの。はたして勝負の行方は? そして、紅子にむけられるよどみの憎しみの原因がこの巻で明らかにされる……。

パンどろぼう 柴田 ケイコ (著)



“パンどろぼう”って、なにもの!? 読み聞かせが楽しいユーモア
絵本

まちのパンやから サササッととびだす ひとつのかけ。

パンがパンをかついで にげていきます。

「おれはパンどろぼう。おいしいパンをさがしもとめる おおどろ
ぼうさ」

パンに包まれた、その正体とは——!?

お茶目で憎めないパンどろぼうが、今日も事件をまきおこす!

日本語オノマトペのえほん 高野 紀子 (著, イラスト)



「てくてく」と「とことこ」、「よろよろ」と「よたよた」…どこが
違う?

オノマトペとは、擬音語・擬態語のこと。園で教室で! 家族とも友
だちとも! みんなで実演してみよう。遊びながら擬音語・擬態語が
楽しく学べる、日本語習得絵本です。

ゆるゆる生物日誌 -はるか昔の進化がよくわかる- 種田 ことび (著), 土屋 健 (監修)



40 億年以上前、私たち人間の祖先は一体何をやっていたのか——。
地球誕生から恐竜絶滅までの生物進化の過程を、ゆるすぎるイラ
ストとなぜか(?)関西弁でたどる異色の人気コミックが単行本に
なりました!!

監修は『リアルサイズ古生物図鑑』の土屋健氏。

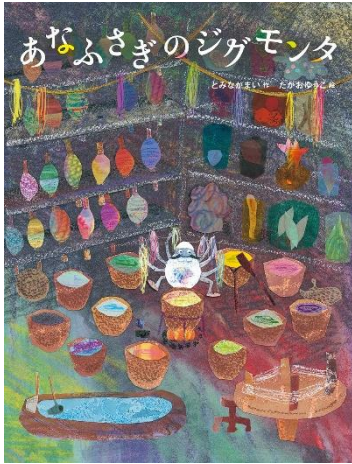
生物の進化という壮大なテーマを、ざっくり楽しく学べます!

単行本描き下ろしも収録!

あなふさぎのジグモンタ

とみながまい(著), たかおゆうこ (イラスト)

【第 67 回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書 小学校低学年の部】

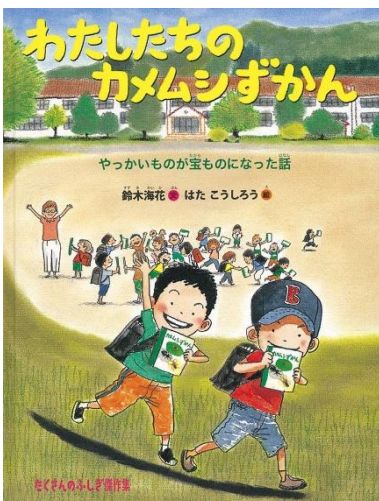


ジグモのジグモンタは、穴ふさぎが得意な服の修理屋さん。でも、この頃はみんな新しいものを欲しがります。「穴ふさぎなんて、もう役に立たないんだ」。気落ちしたジグモンタは、気晴らしに森に出かけますが……。修理という作業を通じて、古いものを使い続ける意味とともに、物作りの喜びまでもが伝わってくるお話。すぐに新しいものが手に入る今こそ読みたい絵本です。

わたしたちのカメムシずかん やっかいものが宝ものになった話

鈴木 海花 (著), はた こうしろう (イラスト)

【第 67 回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書 小学校中学年の部】



私たちの足下には「宝もの」たちが生きている嫌われ者のカメムシが「宝もの」になるという奇跡のようなことが起こりました。はじめ、この学校の子どもたちや先生たちにとっても、カメムシはやっかいもの以外の何ものでもありませんでした。しかし、「カメムシにはいろんな種類がいるようです。私も知らないのでみんなでいっしょにしらべてみませんか？」という校長の言葉をきっかけに、小学校をあげて近所でのカメムシ探しがはじまります。ただ嫌なものだと思っていたカメムシが、色、模様、形などバラエティーにとんだ生きものであることに気づいてゆくのです。そして、学校のみなの熱意がカメムシの研究者も動かします。私たちの足下には「宝もの」たちが生きているということ、そして、よく調べ名前を知るだけで、「宝もの」はだれにでも見つかります。スマートフォンやゲームのなかで探し回らなくても、現実の世界には素晴らしい生きものたちがすぐそこにいるのです。

コミック



はたらく細胞 6巻 (完)
清水 茜



ダンジョン飯 10巻
九井 諒子